

(独)年金・健康保険福祉施設整理機構(RF0)による社会保険病院等の
財務及び内部統制調査結果について(全体報告)

1 調査の背景・概要

- 独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構(RF0)は、平成23年6月の法律改正により、平成26年4月に、地域医療の確保等を目的とした独立行政法人地域医療機能推進機構(以下「新機構」という。)に改組されることとされている。

このため、RF0は、新機構への改組に向けた移行準備の一環として、独立行政法人の形態にふさわしい透明性の高い運営と適正な内部統制を確保する観点から、

- ① 社会保険病院等の財務と内部統制の状況
- ② 改組時の清算に向けて各病院の資産・収益等を把握するための調査を監査法人に委託して行った。

- 調査の対象は、3団体が経営を委託している社会保険病院等のすべての病院(以下のとおり)である。

・ 社団法人全国社会保険協会連合会(全社連):49病院

(※平成24年9月時点で譲渡対象として選定されていた2病院は含まれない。)

・ 財団法人厚生年金事業振興団(厚生団):7病院

・ 財団法人船員保険会(船保会):3病院

本調査については、平成24年9月から実施しており、同年12月21日に中間報告を行った(報告対象は、平成24年11月21日までに実地調査を終了した計23病院(全社連19病院、厚生団1病院、船保会3病院))。

その後、引き続き調査を進め、平成25年2月14日までに全病院の実地調査を終了したので、「2」のとおり、全病院の調査結果を報告する。

なお、調査を開始した平成24年9月時点で譲渡対象として選定されていた2病院についても、他の病院と同様、運営委託契約の解除に伴う清算が必要となること等を踏まえ、財務面についての調査を2月中旬から下旬にかけて行った。当該2病院の調査結果については、追って報告する。

2 調査結果と対応

- I 原因を説明できない差額等についての指摘
- II 会計の体制・処理についての指摘
- III 上記I、IIの指摘に対する全社連の取組状況

1 決算修正による対応

- 上記I及びIIの指摘を受け、全社連が調査を行った。その結果、全社連病院では、現段階では、実地調査を行った49病院のうち45病院が、平成24年度決算において特別利益、特別損失を計上し、少なくとも約30億6,100万円について平成23年度決算の修正を行う必要がある(決算修正額について調査中の病院があり、修正額はさらに大きくなる見込みである。)。